

(コロナから子どもを守る。換気容易なアルミ製に)

# 済美小学校 教室の窓枠を改修

相変わらず猛威をふるうコロナウイルス感染症。一時は高齢者が重篤化するとの理由で、一部高齢者施設からワクチン接種が始まりました。ところが、最近の報道では、コロナウイルスが変異し、変異株は若年層にも感染が広がる傾向にあります。特に最近では学校での感染、クラスターも報道されています。

コロナウイルス感染症対策には手洗い、うがいなどの必要は言うまでもなく、「密を避けること」「教室の換気を行うこと」などが有効とされています。

地元の済美小学校でも新校舎は軽い窓枠が使われていますが、古くから残されている校舎(2階建ての中校舎)は、改修されず、古い鉄製の窓枠が残されたままでした。



軽いアルミ製窓枠に替わった済美小学校

鉄製の窓枠は、重く、開閉しにくい上、児童が開けようとしてけがをする危険もありました。

そこで、済美小学校の教室窓枠早期改修を訴え、(12月議会)当初予算には含まれていなかった窓枠の改修が実現できました。

新しくなった教室の窓枠は軽いアルミ製で、換気扇も設置、児童でも安全に教室の換気ができるようになりました。

## 市立奈良病院の医療状況

市立奈良病院は全350床中70床分をコロナ感染症患者専用病床に転用し、34床(重症2床)を確保していますが、R3年3月の稼働率は95%に上っています。コロナ以外でも病床が逼迫し、患者受け入れが難しくなっています。

あなたの声を

お聞かせ下さい

奈良市会議員  
松石聖一

〒630-8131 奈良市大森町283  
Tel: 0742(22)5354  
sei3@nike.eonet.ne.jp

